



二戸労基署ニュース

いわて県北地域労働安全推進大会開催

第86回 全国安全週間（7月1日～7月7日）を迎えるにあたり、「いわて県北地域労働安全衛生推進協議会」主催による、安全衛生推進大会が6月26日久慈市文化会館（アンバーホール）で開催されました。

大会では、推進協議会の各構成団体から募集した安全衛生標語の中から選ばれた最優秀賞等の表彰式や安全推進事例発表などが行われました。

安全衛生標語 最優秀賞

**「なにげない 作業の中に 改善点
考え一つで 工夫は無限」**

（株式会社 菅文 波田野まり子さん 作品）

熱中症の予防と対策について

熱中症の発症は気候の影響を受けますが、岩手労働局管内では平成22年83人、平成23年48人、平成24年80人と被災者が増加しており、昨年は7月に死亡労働災害が発生しています。

熱中症は高温多湿な環境下において、体内の水分及び塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして発症する障害の総称で次のような症状が現れます。

分類	症状	重症度
度	めまい・失神（「立ちくらみ」という状態で、脳への血流が瞬間的に不十分になったことを示し、“熱失神”と呼ぶこともあります。） 筋肉痛・筋肉の硬直（筋肉の「こむら返り」のことで、その部分の痛みを伴います。発汗に伴う塩分（ナトリウム等）の欠乏により生じます。これを“熱痙攣”と呼ぶこともあります。） 大量の発汗	小 大
度	頭痛・気分の不快・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感 （体がぐったりする、力が入らないなどがあり、従来から“熱疲労”といわれていた状態です。）	
度	意識障害・痙攣・手足の運動障害（呼びかけや刺激への反応がおかしい、体がガクガクと引きつけがある、真直ぐに走れない・歩けないなど。） 高体温（体に触ると熱いという感触があります。従来から“熱射病”や“重度の日射病”と言われていたものがこれに相当します。）	

以下の項目をチェックして熱中症の予防と対策に努めましょう！

- WBGT値（暑さ指数）の低減に努めていますか！？
WBGT値（暑さ指数）は環境省提供の熱中症予防情報（<http://www.wbgt.env.go.jp/>）で検索可能です。
- 自覚症状の有無にかかわらず水・塩分を摂っていますか？
- 透過性・通気性の良い服を着ていますか？
- 睡眠不足・体調不良はありませんか？

労働災害発生状況(平成25年1月～6月)

- ・ 死亡労働災害 : 3件(前年同期比 +2件)
- ・ 休業4日以上 : 65件(前年同期比 +7件)

なにげない 作業の中に 改善点 考え一つで 工夫は無限

平成25年度全国安全週間
いわて県北地域労働安全衛生推進協議会
安全衛生標語 最優秀賞

株式会社 菅文

波田野まり子 さん 作品



いわて県北地域労働安全衛生推進協議会

撮影：小袖海岸